

一口メモ（コースガイド）

- ① 河合神社 下賀茂神社の摂社 祭神は日本第一美神である神武天皇の母・玉依姫命（たまよりひめのみこと）で、美人や縁結びの信仰が厚い事から手鏡型の珍しい鏡絵馬 1000 円を授与
顔が描かれた表面にクレヨンや口紅でメイクして奉納します。
「方丈記」の作者、鴨長明は、この社の神官の家に生まれました。
- ② 紗の森 (ただすのもり) 下賀茂神社の参道が延びる 12 万 m² 以上もの広大な森。約 40 種類、樹齢 200~600 年の原生林が生い茂る中を、御手洗川や泉川が流れ「源氏物語」や「枕草子」などにも登上します。紀元前 3 世紀頃と変わらない植生なども現存しています。
- ③ 下賀茂神社 平安時代以前から崇められてきた古社。厄除け、開運の神様・賀茂建角身命（かもたけつぬみのみこと）を祭る西本殿と、安産、子育ての神様・玉依姫命（たまよりひめのみこと）を祭る東本殿は、ともに国宝。代表的な神社建築である流造で、創建時の様式をとどめています。
※葵祭りは、下賀茂神社と上賀茂神社の祭礼で、祇園祭、時代まつりと共に京都三大祭りのひとつ。国家安寧と五穀豊穣を願って欽明天皇の御代（509~571）に始まったと言われ、古来、京都で祭りと言えば葵祭のことでした。5月 15 日の路頭の儀では、斎王ら総勢 500 人以上に牛、馬、牛車などが葵の葉を飾って、平安時代さながらに京都御所を出発し、下賀茂神社～上賀茂神社までを練ります。
- ④ 上賀茂神社 下賀茂神社と並んで平安京以前からあった京都で最も古い神社。（加茂別雷大神（かもわけいかづちのおおかみ）を祀る）京都の守護神とあがめられて、歴代天皇が行幸し、格調の高さも京都随一。長い参道を経て朱塗りの桜門を抜けると、国宝の本殿・権殿（仮殿）があります。
- ⑤ 上賀茂社家町 上賀茂神社の神職らの屋敷群。神社の境内から流れる神名川に沿って、室町時代から（しゃけまち）街並みが形成された。30軒ほど並ぶ屋敷の中には、神名川の水を引き入れた庭や身を清める井戸などを備えるなど、社家屋敷ならではの神聖な雰囲気をたたえた住居が残ります。
- ⑥ 御すぐき處 京都なり田 由緒あるすぐき漬けの名店 創業 300 年、風情ある上賀茂にあり、京野菜を丹精込めて漬け込んだ漬物は全国にもファンが多い。きざみすぐき 750 円。乳酸菌の発酵による深みのある酸味が特徴です。
- ⑦ 太田神社 (太田の沢) 縁結びや長寿、芸能の神様・天鉢女命（あめのうずめのみこと）を祀る。上賀茂神社の境外摂社。平安時代よりカキツバタの名所として知られる。参道脇の「太田ノ沢」はカキツバタが群生する国の天然記念物で、5月上～中旬が花の見頃。
※神社の通りの前には、北大路魯山人生誕地の石碑が建っています
- ⑧ 深泥(みぞろが池) 三方を低山に囲まれた周囲 1.5 Km の池には浮島があり、氷河期の植物や昆虫が生き残る貴重な生物群落として天然記念物に指定されている。中でも 4 ~ 5 月に白い花が咲くミツガシワや、世界に一種しかない水生のミズクモは特に珍しい。
- ⑨ 陶板名画の庭 モネの「睡蓮」やミケランジェロの「最後の審判」、レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」など世界的な名画を題材にした陶板名画を屋外展示しているのでゆっくり鑑賞できます。